



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年11月7日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東
 コード番号 9723 URL https://www.kyotohotel.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 西川 治彦 (TEL) 075(211)5111
 四半期報告書提出予定日 2018年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の業績 (2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	5,034	—	233	—	140	—	66	—
2018年3月期第2四半期	5,094	△3.2	385	10.0	289	62.6	210	142.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	6.03	—
2018年3月期第2四半期	19.04	—

(注) 当社は、2018年3月期より決算期を12月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、2019年3月期第2四半期(2018年4月1日から2018年9月30日)は、比較対象となる2018年3月期第2四半期(2017年1月1日から2017年6月30日)とは対象期間が異なるため、2019年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

[参考]

下記の%表示(増減率)は、2018年3月期第2四半期(2018年4月1日から2018年9月30日)に対応する前年同期間(2017年4月1日から2017年9月30日)と比較した増減率です。(金額単位:百万円)

売上高 4,883 3.1% 営業利益 231 0.9% 経常利益 134 4.5% 四半期純利益 116 △42.8%

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	17,505	2,335	13.3
2018年3月期	18,280	2,323	12.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 2,335百万円 2018年3月期 2,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	5.00	5.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想 (2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,352	—	435	—	250	—	120	—	10.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2018年3月期は決算期変更により15ヶ月決算となっております。このため、対前期、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	11,091,400株	2018年3月期	11,091,400株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	54株	2018年3月期	54株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	11,091,346株	2018年3月期2Q	11,073,859株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社の前事業年度は決算期の変更により、2017年1月1日から2018年3月31日までの15ヶ月間となっております。これにより、当第2四半期累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日）は比較対象となる前第2四半期累計期間（2017年1月1日から2017年6月30日）と対象期間が異なるため、前年同四半期との比較は行っておりません。ただし、当第2四半期累計期間の実績をよりわかり易く表現するために、参考数値として2017年4月から9月の6ヶ月間合計の実績との比較を「前年同期間比」として一部記載しております。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、自然災害の影響もあり、一部に弱めの動きが見られるものの、企業収益や雇用環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調が続いております。

京都のホテル業界におきましては、ホテル建設ラッシュや民泊の台頭などにより、市場環境は一段と激しさを増した上に、7月初旬の豪雨、その後相次いだ台風の影響で入浴客数の増加傾向に歯止めが掛かりました。

このような状況の中、当社におきましては2016年12月期を初年度とする3ヶ年の中期経営計画の最終年度として、創業130周年の記念事業の展開など中期経営計画の諸施策を着実に実行してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,034百万円（前年同期間比151百万円増）となりました。また、収益面におきましては、前年同様に原価管理の強化や徹底した経費削減に取り組みましたが、働き方見直しの実施に伴う人員増加が人件費を押し上げたことにより、利益は前年同期間比微増にとどまり、営業利益233百万円（前年同期間比2百万円増）、経常利益140百万円（前年同期間比6百万円増）となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

(宿泊部門)

京都ホテルオークラの宿泊部門は、5月までは好調だったものの、その後の大阪北部地震や台風直撃などの自然災害によりキャンセルが発生し、売上高は前年同期間比13百万円減となりました。特に国内個人のお客様の予約は、今まで好調だったインターネット経由も前年割れとなり、旅行を見送った方が多かったと思われます。一方、外国人のお客様はインターネット予約を中心に個人客が好調に推移したことに加え、大型MICE案件が貢献し、前年を超える結果となりましたが、邦人客の減少をカバーするまでには至りませんでした。

からすま京都ホテルにおきましては、修学旅行をはじめとする国内団体、外国人旅行が好調に推移し売上高は前年同期間比11百万円増となりました。

これらの結果、宿泊部門全体の売上高は1,867百万円(前年同期間比0.1%減)となりました。

(宴会部門)

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、小型化により平均人数は減少するも、件数を大きく伸ばすことが出来、一般宴会においても大型MICE案件や会議利用が増加し、売上高は前年宴会場の改装があったこともあり前年同期間比163百万円増となりました。

からすま京都ホテルでは、一般宴会の件数・人数の増加、料理単価の上昇、修学旅行の夕食も順調に受注でき、売上高は前年同期間比20百万円増となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は1,558百万円(前年同期間比13.4%増)となりました。

(レストラン部門)

京都ホテルオークラでは、館内店舗におきまして、トップラウンジ「オリゾンテ」と京料理「入舟」が堅調に推移し、大型MICE案件による外国人宿泊客の利用が増加したバー「チップェンデル」においても順調に推移しました。一方、外国人グループ客の減少により、鉄板焼「ときわ」、テラスレストラン「ベルカント」が低調に推移したことに加え、中国料理「桃李」の朝食営業の中止も影響し、売上高は前年同期間比5百万円減となりました。また、館外店舗におきましては、月曜日を定休日にした京料理「粟田山荘」の減収が影響し、売上高は前年同期間比10百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、お食事処「入舟」、中国料理「桃李」で、猛暑、台風等による入客数の減少により、売上高は前年同期間比6百万円減となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は1,356百万円(前年同期間比1.6%減)となりました。

(その他部門)

その他部門の売上高は252百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

会員制度の変更等に伴い会費収入が減少したことによるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		前年同期間比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	1,867,110	37.1	△0.1
宴会部門	1,558,231	31.0	13.4
レストラン部門	1,356,250	26.9	△1.6
その他部門	252,950	5.0	△3.0
合計	5,034,542	100.0	3.1

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ774百万円減少し、17,505百万円となりました。

負債につきましても、前事業年度末に比べ785百万円減少し、15,170百万円となりました。

また、純資産は前事業年度末に比べ11百万円増加し、2,335百万円となり、自己資本比率は13.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ458百万円減少し、当第2四半期会計期間末には905百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は287百万円となりました。これは主に未払金が208百万円減少したものの、減価償却費425百万円などがあったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は237百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出235百万円などがあったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は508百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が427百万円あったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期第2四半期の業績予想につきましては、2018年5月9日に公表いたしました業績予想から、本日公表の「第2四半期累計期間における業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」に記載のとおり業績予想値と実績値との差異が生じております。なお、2019年3月期通期の業績予想につきましては、今後の動向などを踏まえ、据え置いております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,363,222	905,198
売掛金	512,849	453,991
原材料及び貯蔵品	67,791	67,547
前払費用	38,244	57,457
その他	23,961	16,237
貸倒引当金	△432	△83
流動資産合計	2,005,636	1,500,350
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,335,379	10,096,860
構築物(純額)	40,461	36,805
機械装置及び運搬具(純額)	53,902	68,005
器具及び備品(純額)	317,152	290,212
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産(純額)	130,808	120,639
建設仮勘定	1,600	-
有形固定資産合計	15,950,646	15,683,865
無形固定資産		
ソフトウェア	6,239	9,059
リース資産	109,877	117,533
電話加入権	4,429	4,429
商標権	304	279
無形固定資産合計	120,850	131,301
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,300
長期前払費用	8,525	6,371
差入保証金	54,365	54,315
繰延税金資産	118,694	108,416
その他	11,545	11,030
貸倒引当金	△262	-
投資その他の資産合計	202,869	190,432
固定資産合計	16,274,366	16,005,599
資産合計	18,280,003	17,505,949

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	202,751	144,571
1年内返済予定の長期借入金	758,453	662,000
リース債務	68,191	78,586
未払金	866,899	569,323
未払費用	95,715	88,672
未払法人税等	7,686	37,171
前受金	134,150	87,255
預り金	43,154	43,568
前受収益	37,894	64,725
賞与引当金	106,890	106,980
ポイント引当金	7,915	2,611
その他	25,433	23,934
流動負債合計	2,355,135	1,909,400
固定負債		
長期借入金	12,132,000	11,801,000
リース債務	199,522	206,498
長期未払金	430,529	415,123
退職給付引当金	2,063	8,799
長期預り保証金	836,829	829,829
固定負債合計	13,600,944	13,261,250
負債合計	15,956,080	15,170,651
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,268,924	1,268,924
資本剰余金		
資本準備金	450,229	450,229
その他資本剰余金	80,265	80,265
資本剰余金合計	530,494	530,494
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	524,545	535,921
利益剰余金合計	524,545	535,921
自己株式	△42	△42
株主資本合計	2,323,922	2,335,298
純資産合計	2,323,922	2,335,298
負債純資産合計	18,280,003	17,505,949

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高		
室料売上	1,697,122	1,815,631
料理売上	1,904,661	1,763,748
飲料売上	391,751	372,221
雑貨売上	259,258	253,577
その他売上	841,750	829,362
売上高合計	5,094,543	5,034,542
売上原価		
料理原料	559,005	520,061
飲料原料	83,839	80,759
雑貨原価	202,578	197,688
その他原価	132,372	120,812
原価合計	977,796	919,321
売上総利益	4,116,747	4,115,221
販売費及び一般管理費	3,730,847	3,881,906
営業利益	385,899	233,314
営業外収益		
補助金収入	566	230
受取手数料	2,152	2,142
基地局設置手数料	1,897	1,015
その他	3,072	2,604
営業外収益合計	7,690	5,993
営業外費用		
支払利息	102,448	97,716
支払手数料	500	500
その他	819	241
営業外費用合計	103,767	98,457
経常利益	289,822	140,850
特別損失		
固定資産除却損	20,722	41,897
その他	-	3,360
特別損失合計	20,722	45,257
税引前四半期純利益	269,100	95,592
法人税、住民税及び事業税	35,478	18,481
法人税等調整額	22,764	10,278
法人税等合計	58,243	28,760
四半期純利益	210,856	66,832

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年1月1日 至2017年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	269,100	95,592
減価償却費	420,577	425,600
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,268	△611
ポイント引当金の増減額(△は減少)	681	△5,304
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	90
退職給付引当金の増減額(△は減少)	-	6,736
前払年金費用の増減額(△は増加)	8,753	-
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	102,448	97,716
固定資産除却損	20,722	41,897
売上債権の増減額(△は増加)	163,148	59,120
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,807	243
仕入債務の増減額(△は減少)	△133,495	△58,180
未払金の増減額(△は減少)	△109,295	△208,890
その他	△76,932	△68,185
小計	696,245	385,823
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△104,265	△97,301
法人税等の還付額	3,861	-
法人税等の支払額	△2,802	△1,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	593,040	287,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△325,105	△235,114
無形固定資産の取得による支出	△4,040	△1,967
その他	728	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△328,417	△237,128
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△380,926	△427,453
リース債務の返済による支出	△38,401	△25,465
自己株式の処分による収入	46,598	-
配当金の支払額	△32,966	△55,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△405,695	△508,049
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△141,072	△458,023
現金及び現金同等物の期首残高	1,512,146	1,363,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,371,073	905,198

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。